

## 国立大学入学者選抜研究連絡協議会 の 活 動

国立大学における入学者選抜に関する研究の交流と協力を推進し、入学者選抜方法の改善に寄与することを目的に、昭和55年6月、各国立大学の入学者選抜方法研究委員会と大学入試センターで組織された国立大学入学者選抜研究連絡協議会（略称：入研協）の第14回大会が、平成5年6月3日(木)・4日(金)の2日間、千代田区の国立教育会館で開催された。

総会及び研究会には、公・私立大学53大学94名の関係者を含む380名が出席した。公開講演会には、高等学校等からの80名を含む460名の参加者があった。また、昨年同様、テーマを指定した研究会を開催した。

### ○ 第14回総会

来賓挨拶の後、平成4年度会務報告、役員の変動について、平成5年度事業計画等が承認された。

事業計画では、研究プロジェクトとして、多数の大学が共通して取り組むのにふさわしい研究課題を選定し、参加大学の調査研究結果について連絡協議を行うこととし、本年度は次の2つの研究を推進することになった。

- (1) 入学者の学業と選抜方法との関連についての追跡調査研究
- (2) 「合否入れ替り率」に基づく大学個別試験と大学入試センター試験等の選抜効果の評価

### ○ 公開講演会

テーマ：大学入試の近未来学

講演Ⅰ 高校教育の変容と大学入試

講演者：山岸駿介氏（朝日新聞社）

講演Ⅱ 大学教育の変容と大学入試

講演者：天野郁夫氏（東京大学）

### ○ 研究会等

#### 【研究会Ⅰ】

- ① 高崎 禎夫（広島大学）  
「相関ふたたび―「七五四」のその後―」
- ② 市川 定夫（埼玉大学）  
「学内成績と入試成績との相関(3)：平成3年度入学者についての解析」
- ③ 平野 光昭（山梨医科大学）  
「医師国家試験の合格率を高める入試及び他の要因」
- ④ 高野 文彦（大学入試センター）  
大学入学者の特性と選抜方法との関連についての追跡調査研究の最終報

告」

#### 【研究会Ⅱ】

- ⑤ 勝木渥（信州大学）  
「センター試験『物理』の回答分析を通してみた高校物理教育の問題点」
  - ⑥ 明石 義人（宮崎大学）  
「宮崎大学の分離・分割方式導入に伴う受験生の動向と試験方法に関する問題点」
  - ⑦ 平 直樹，池田 輝政（大学入試センター）  
「入試科目の効果に関する新しい評価法」
  - ⑧ 長野 剛（九州大学）  
「大学及び学部の選択理由と入学後の意識」
  - ⑨ 池田 輝政，山村 滋（大学入試センター）  
「もう一つの選抜の評価モデルの提案―事例分析を通して―」
- #### 【研究会Ⅲ】
- ⑩ 岩田 弘三，山田 文康（大学入試センター）  
「学部系統別にみた志願者層の推移に関する研究」
  - ⑪ 田中 吉紀（鳥取大学）  
「定員留保第二次募集入学者の成績評価」
  - ⑫ 木村 健一郎（北海道教育大学）

「推薦入学者に関する追跡調査（その1）―応募者の基本属性と合格者の学内成績―」

- ⑬ 村上 隆（名古屋大学）  
「流動的状況の中における一定の入試方法の意味の変化」

#### 【テーマ指定研究会】

司会者：市川 定夫（埼玉大学）

中村 昌稔（神戸大学）

- (1) 大学改革と入試
- (2) 18才人口の減少にどう対応するか  
問題提起：  
帰国子女特別選抜  
(大学入試センター)

#### ○ 地区協議会

北海道地区、東北地区、中部地区、中国・四国地区、九州地区の5地区の地区協議会が大会時に開催された。

関東・甲信越地区、近畿地区の2地区の地区協議会は、別の日程で開催され、それぞれ情報交換等を行った。

#### ○ セミナー

第14回大会の関連行事として、セミナーが「入試データの基礎的分析手法」のテーマで6月2日に東京大学教養学部において開催された。

参加者は、130名で、内訳は教員63名、事務職員67名であった。